

カリ 2022U20 世界陸上競技選手権大会(開催地：コロンビア・カリ)(開催期間：2022年8月1日～6日)に九州共立大学陸上競技部から日本代表選手に選出されていた下記4名の結果です。

村上来花(女子ハンマー投)は、予選を全体の10位で通過しました。

決勝は、2投目の終了時点で大雨、雷で中断となり、試合終了までに5時間という時間を要する長丁場となりました。

その中でもシーズンベストを3本投げる快投をみせ、この種目で日本史上初出場という中で、見事3位入賞、銅メダルを獲得する快挙を成し遂げました。

辻萌々子(やり投)は、予選を全体2位の記録で通過するも、決勝では実力を発揮することができず第6位入賞に止まってしまいました。

日頃から応援くださる皆様の御支援があつてのこそと感謝しております。

今後とも応援宜しくお願いします。

◎女子ハンマー投 村上来花(スポーツ学部1年)青森・弘前実業高校出身[決勝進出第3位入賞]

☑日本人初出場、初入賞、初表彰台!!

◎女子やり投 辻萌々子(スポーツ学部1年)愛知・名古屋大谷高校出身[決勝進出第6位入賞]

◎男子やり投 井上堅斗(スポーツ学部1年)京都・久御山高校出身[決勝進出10位]

男子400m 有田詞音(スポーツ学部1年)福岡・近大福岡高校出身[準決勝進出]

☑有田は4×400mRで1走を任され、第6位入賞。



理事長・学長へ表敬訪問をしました。

